

平成30年 長久手市住まいに関する標語・川柳が決定しました！

長久手市消防本部

長久手市消防本部は「火災による死者の発生がゼロ」12年目を迎え、さらに火災の予防を推進するため市民一人ひとりに考えてもらう趣旨で標語・川柳を募集したところ、147作品の応募があり、消火器がテーマの「小中学生の部」、防災品がテーマの「一般の部」において最優秀作品が決定しました。

最優秀作品は平成30年消防出初式において広報幕となり、市民へお披露目を行いました。

平成30年中の火災予防啓発活動で活用します。



ハイブリッド自動車取扱い研修を実施しました

豊中市消防局

豊中市消防局は、平成30年1月18日(木)、大阪トヨペット株式会社から講師を招き、平成29年度ハイブリッド自動車取扱い研修を実施しました。

この研修は、ハイブリッド自動車等が関係する事故や火災に備え、ハイブリッド自動車や電気自動車、燃料電池自動車に関する災害対応時の注意点を座学と実車を使った実技で教養を受け、実災害時の活動が迅速かつ的確に行えるよう、知識と技術を高めることを目的として実施しました。



消防通信 望楼 ぼうろう

「西宮市消防70周年記念フレーム切手」贈呈式を実施

西宮市消防局

西宮市消防局では、郵便局協力の下「西宮市消防70周年記念フレーム切手」を作成し、平成30年1月15日(月)に郵便局から贈呈を受けました。

記念切手シートは、過去から現在にかけて使用した消防車両と、ともに月日を重ねてきた西宮市消防団の法被などを掲載し、歴史の変遷が分かる構成となっています。

平成30年1月19日(金)から西宮市内と芦屋市内の郵便局で、1,000シートを1年間販売予定。



寄贈高規格救急自動車受納式

中間市消防本部

一般社団法人日本損害保険協会が、毎年実施している高規格救急自動車寄贈事業に伴う平成29年度の寄贈高規格救急自動車受納式を、平成30年1月25日(木)に中間市消防署の車庫内で実施しました。受納式では、寄贈元の日本損害保険協会九州支部事務局長、子安氏より中間市の白尾副市長へ目録及びレプリカキーの贈呈が行われました。また、式の後半では出席者の一人が突然倒れてCPAになる設定で、高規格救急自動車積載の高度救命処置用資器材を使用して救急シミュレーションを行うなど、思考を凝らした演出で大いに盛り上がりました。今回の寄贈車両は日産パラメディック4WD V6-3500ccで、偽装の目玉としてパトライト社製のパトリックピークルを九州で初めて採用しており、出勤から帰署までの車両及び道路状況に合わせた様々な光と音の組み合わせで、効果的な注意喚起を行える仕様となっています。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】